

第一三〇回

川崎市定期能



能「天鼓」角当直隆

能「景清」角当行雄
(撮影:前島写真店)



<p>能</p> <p>天鼓</p> <p>弄鼓之楽</p> <p>角当直隆(観世流梅若会)</p>	<p>狂言</p> <p>菊の花</p> <p>三宅近成(和泉流)</p>	<p>第二部</p> <p>15時30分開場 16時00分開演</p>	<p>能</p> <p>景清</p> <p>松門之会釈</p> <p>角当行雄(観世流梅若会)</p>	<p>狂言</p> <p>佐渡狐</p> <p>三宅右近(和泉流)</p>	<p>一調</p> <p>玉鬘</p> <p>梅若桜雪・観世新九郎</p>	<p>第一部</p> <p>12時30分開場 13時00分開演</p>
--	---------------------------------------	---	---	---------------------------------------	---------------------------------------	---

2023年12月9日(土) 会場:川崎能楽堂
 入場料(全席指定):各部 正面席 4,500円、脇正面・中正面席 4,000円
 U25 3,000円 ※脇正面、中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方。購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

■チケット発売 2023年11月6日(月)10:00より発売(先着順)

■販売方法
*取扱い座席は全て共通です。

電話申込

インターネット申込

窓口申込
※11月7日から

①川崎能楽堂 TEL.044-222-7995(10:00~17:00、水曜定休日)
 ②カンフェティ TEL.0120-240-540(平日10:00~18:00)
 *②は席種のみ指定可。座席選択はできません。
 *①・②共にセブンイレブンでの支払・引取、またサービス利用料(¥110/枚)、発券手数料(¥220/枚)が掛かります。
 カンフェティ(GETTIIS) https://confetti-web.com/kbz_noh130
 *GETTIISへの事前会員登録が必要です(登録無料、カンフェティ会員とは異なります)。
 *クレジット決済・セブンイレブン支払が選択でき、引取はセブンイレブンになります。
 *サービス利用料(¥110/枚)、発券手数料(¥220/枚)が掛かります。
 川崎能楽堂 川崎市川崎区日進町1-37(10:00~17:00、水曜定休日)
 *残数があれば11月7日(火)10:00より販売いたします(支払いは現金のみ)。



カンフェティ



川崎市文化財団



川崎市文化財団は川崎市市制100周年を応援しています。

主催 公益財団法人 川崎市文化財団 〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL.044-272-7366 FAX.044-544-9647
 後援「音楽のまち・かわさき」推進協議会
 *開演後はご入場いただけない場合がございます。また、都合により、日時・内容・出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。

定期能をより楽しむための
事前講座 初めて見る方にもオススメ

◆日時:11月24日(金)14:00~15:30 ◆会場:川崎能楽堂
 ◆講師:角当直隆(観世流梅若会・シテ方)、内藤幸雄(観世流梅若会・シテ方)
 ◆定員:148名(先着順) ◆料金:無料

*第130回川崎市定期能チケットご購入者が対象となります。
 *受講をご希望の方はチケットご購入の際にお申し出いただくか申込フォームよりお申し込みください。



事前講座申込フォーム

一調 玉鬘

梅若 桜雪

小鼓 観世新九郎

狂言 佐渡狐

シテ奏者 三宅 右近

アド 佐渡の百姓 三宅 右矩
小アド 越後の百姓 三宅 近成

能 景清

ツレ人丸 角当 美織
トモ 従者 坂口 貴信
シテ 悪七兵衛景清 角当 行雄

松門之会釈 大鼓 大倉慶乃助
ワキ 里人 大日方 寛 小鼓 観世新九郎 笛 一噌 隆之

後見 松山 隆之
奥川 恒治

小田切亮磨 山中 逆晶
地謡 内藤 幸雄 山崎 正道
坂 真太郎 遠藤 喜久

*一調...能の打楽器いずれか一人と謡一人で謡曲の一部を演奏する形式

狂言 佐渡狐【さどぎつね】

佐渡の国の百姓(アド)と越後の国の百姓(小アド)が年貢を納めに都へ行く途中、道連れになります。越後の百姓は佐渡には狐がないだろうと言い、佐渡の百姓は狐はいると言ひ張ります。二人は腰の刀を賭けることにしますが佐渡の百姓は狐を見たことがないので姿態がわかりません。都の領主の館に着くと、佐渡の百姓は奏者(取次役・シテ)に年貢を納めるついでに事情を話し、賭路を贈ります。みかえりに奏者は、佐渡の百姓に細かく狐の姿を教えます。あとからきた越後の男が佐渡の男に狐に関する質問をすると、佐渡の男は奏者の助けで賭けに勝ち刀を取って去ります。

能 景清【かげきよしょうものあしらひ】

松門之会釈

平家滅亡の後、平家の武将で勇名を馳せた悪七兵衛景清は、目の乞食となつて余生を送っていました。鎌倉に住む景清の娘・人丸が、景清が生きていると知り従者と共に日向国宮崎へ景清を尋ねます。ちょうど景清のもとに人丸たちがやってきて景清の行方をたずねますが、今の我が身を恥じて名乗りもせず追い返してしまいます。その後人丸たちは里人に会い、先ほどの乞食が景清であると知らされ、里人の仲介で景清と対面することができました。景清は人丸の求めに応じ八島の合戦での名勝負「三保谷四郎」との鍛引きの話を語り聞かせます。

語り終えた景清は死後の供養を娘に頼み、互いに一言、言葉をかわして別れていきました。

*鍛・兜の左右後方に垂らして首を覆う部分

狂言 菊の花

シテ太郎冠者 三宅 近成

アド主 三宅 右矩

能 天鼓

前シテ王伯 角当 直隆
後シテ天鼓の霊

弄鼓之衆 アイ動使ノ下人 高澤 祐介

後見 小田切亮磨
山中 逆晶

鷹尾 雄紀 坂 真太郎
地謡 内藤 幸雄 鈴木 啓吾
松山 隆之 山崎 正道

狂言 菊の花【きくのはな】

暇も乞わずにどこかへ出かけていた太郎冠者が昨夜戻ったと聞き、怒っていた主人は太郎冠者の私宅へ出向きます。しかし太郎冠者が忍んで京内参り(京見物)をして来たと言ひるので許し、都の様子を尋ねます。太郎冠者が頭に挿していた菊の花がきっかけで美しい貴婦人から和歌を詠みかけられ即座に返歌し、誘われるままに祇園の野遊びに行った話をしますが...

能 天鼓【てんころうこのがく】

弄鼓之衆

昔、中国に王伯と王母という夫婦がおりました。妻は天から鼓が降る夢を見た後に子どもを産んだため、その子に天鼓と名付けました。その後、天から本物の鼓が降りてきてその子の手の中に収まり、打ち鳴らすと実に美しい音を出しました。その噂を伝えた聞いた皇帝は、鼓を献上するように命じます。天鼓はそれを拒み、鼓を持つて山に隠れますが、探し出され、鼓を取り上げられ、呂水という川に沈められてしまいます。宮中に運ばれた鼓は、その後誰が打つても鳴りません。そこで、天鼓の父王伯を呼び鼓を打つよう命じます。我が子を失い悲しみにくれる王伯は死を覚悟して参内し、悲しみのうちに鼓を打つと、心まで澄み渡るような美しい音で鳴りました。哀れを感じた皇帝は、王伯に宝を与えて帰らせます。そして、天鼓のために呂水のほとりて管絃講の甲い(音楽法要)を行います。すると天鼓の霊が現われ、回向を感謝し、自ら供えられた鼓を思うまま打ち鳴らし、舞い、夜明けとともに消えていきます。

次回公演のお知らせ

野村万蔵による芸能サロン

～狂言を楽しもう～

開催日:2024年1月13日(土)14:00開演

演目:解説 野村万蔵

狂言「棒縛」野村万蔵

狂言「秋大名」野村万蔵

チケット発売:12月4日(月)より川崎能楽堂にて

発売(先着順)

第131回川崎市定期能～金春流～

開催日:2024年3月9日(土)

演目:【第一部】12:30開場 13:00開演

能「高砂舞序破急ノ伝」高橋忍

狂言「蟹山伏」大藏教義

【第二部】15:00開場 15:30開演

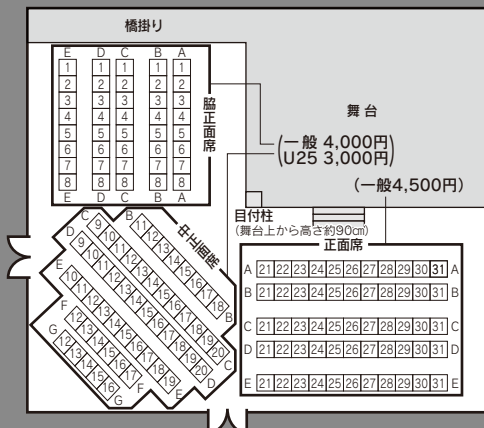
能「空腕」大藏彌太郎

狂言「乱」金春安明

チケット発売:2月5日(月)より川崎能楽堂にて

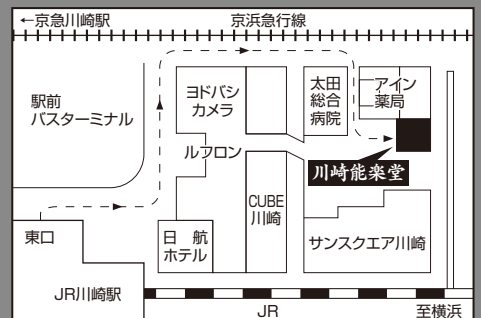
発売予定(先着順)

※都合により日時、内容、出演者等変更になる場合もございますので予めご了承ください。



※U25券は臨正面席・中正面席のみ選択可。
※C列、E列は前の列より一段高くなっています。

川崎能楽堂座席表(148席)



JR川崎駅東口より徒歩5分
■アクセス(JR川崎駅まで)品川駅より約9分 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
川崎能楽堂(9:00~17:00※水曜定休日)
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995

川崎能楽堂案内図

